

2学期始業式 講話 ■令和3年8月26日  
№10 「伸び合う」

おはようございます。

校長先生の声届いていますか？

長かった夏休みも終わり、いよいよ今日から2学期が始まります。さて皆さんは2学期が始まってどんな気持ちですか。お友達と会えて嬉しいなあとか、あるいはもう朝からゲームができなくて嫌だなあ、とかいろいろあるかと思いますが、気持ちを切り替えて、楽しくて面白くてためになる2学期にしてほしいと願っています。

そのために1つだけ注意をしないといけないことがあるのでよく聞いてください。それは、学校はおうちと違って、みんなで過ごしている場所だということです。おうちだと、自分がゲームをしたり、おやつを食べたりと自分だけが楽しくなるように考えたらよかったのですが、学校と言う場所はそうではありませんよね。いつも、いつでもお友達と楽しく過ごすことを考えないといけません。おうちと学校では、楽しみ方が、楽しむ気持ちが全然違うのです。

これは勉強のときも同じです。おうちだと、一人でがんばり、ひとりで勉強だったのですが、当たり前ですが、学校はお友だちと一緒に勉強して、いっしょに賢くなっていく場所なのです。とはいっても、クラスの全体で話し合ったり、聞き合ったりするのは、なかなか難しいものです。

だから最近の敷津小学校の授業では2人のペアや3人や4人のグループの勉強が多いですよ。お互いにわからないことや、考えたことを伝え合うことが授業中にたくさんあると思います。

お勉強ができる人の中には、なんで人に教えてあげないとあかんねんとか、他人に教えたらずいしたみたいやという考えの人がいるかもしれません。

それは少し違います。実はひとにものを教えるということが、一番の勉強なのです。ものをおぼ

えることを記憶と言いますが、一番いい記憶方法は人に教えるということなのです。

そしてペアやグループで勉強するときにも、注意してほしいことが1つあります。それは、できれば、勉強がわかった子、その問題ができた子から教えるのではなく、わからない子から「わからへん、教えて」と言ってほしいのです。

ただ、これはものすごく難しいことかもしれません。なかなか言えないかもしれません。街中でも、重い荷物をもっているおばあちゃんが、これ重たいから助けてくださいはなかなか言いにくいですよ。そこで元気な若い人が、「おばあちゃん重たそうやね、持ってあげようか」と言ってあげる方がいいですよ。

教室でも同じです。同じ班の中で、困っている人がいたら、みんなで、やさしく「ひょっとして困ってる？」とか「わからへんことない？」と声をかけてほしいのです。そうすれば、きっと「そやねん。わからへんねん、教えて」と声が出てくると思うのです。

そして「教えて」とたのまれた人は、最後まで丁寧に教えてあげてください。「はい、これ答え、写しとき」とか「一度聞いてわからへんのは、あんたが悪いんやから、もう教えてあげへん」なんて冷たいことを言わないで、相手のひとがわかるまで、丁寧に教えてあげてください。そうすれば、教えられた人も、そして教えた人も両方とても賢くなります。

校長先生が昔中学校で担任をしていたとき、とても生徒同士の仲が悪いクラスがありました。そのためか、何をしても楽しく無く、成績もとても悪かったのです。ところが2学期のはじめに、「先生、朝早くきて高校受験の勉強してええか？一人だとくじけそうなので、友だちと2人で勉強したいねん。なんやったら放課後も残って一緒に勉強したいねん。」と言ってきた生徒がいました。

「まじめに勉強がんばるのならいいですよ。」と許可をしたところ、次の日からさっそく2人で朝早くに学校へ来てまじめに勉強し出したのです。

それまでその2人がそんなにまじめに勉強するキャラではなかったもので、朝早くに勉強している姿を見て他の生徒もびっくりしました。

そして1ヶ月ぐらいたって、行われたテストで2人はとても良い結果を残すことができました。すると驚くことがおこりました。2人が朝勉強してテストの点数が上がったなら、ぼくたち、私たちも勉強がんばりたいと多くの生徒が言ってきたのです。

その結果2学期の終わり頃はクラスの全員が朝早くにきて勉強するようになりました。もちろんそのクラスの成績は学年最高になりました。

他の先生たちからも、なんで原先生のクラスはそんなに成績が良いのですか、にか特別な授業方法とかしているのですかと聞かれたのですが、私はなにもしていません、むしろこどもたちが、ペアやグループで自分から勉強するようになったからではないでしょうかと返していました。

正直校長先生もあまりに不思議だったので、ある生徒にこっそり訊いたことがあります。どうしてこんなに成績が伸びたと思う？朝勉強や放課後勉強って何がいの？ときくと

「1人で勉強していても、わからないところとかあると、すぐに勉強を続けるのが嫌になるけれど、隣に友だちがいるとすぐに訊けるし、教えてもらえるから、めっちゃええねん！」

「先生がいないと、だれるかもしれないと思ってたけど、案外みんなまじめにやってて、さぼったりしていると、友だちから注意されるねん。」

なるほどなあ。これなら成績も伸びると思いました。というか、成績が伸びるということは、こういうことだと思いました。1人ではなく、友だちといっしょに学び合っていく。すると自然と成

績も伸び合っていくんだなあ、そのとき強く思いました。

間違えないでください。みなさんに何も朝早く来て勉強しないさいと言っているのではないですよ。そうではなく、勉強はひとりではなく、おともだちとやった方が絶対に楽しいし力がつきやすいということをみなさんには覚えてほしいのです。

このことを2学期の目標にしたいなあと思います。そうすれば勉強の時間も楽しいし、さらにはお友達同士の仲が良くなるので、休み時間とか給食の時間ももっともっと今よりも楽しくなると言うことです。じぶんだけがわかるのではなく、クラスや班に困ってそうなお友だちがいましたら、ぜひやさしく声をかけるようにして、みんなで伸び合っていきましょう。

最後に玄関の水槽、熱帯魚についてお知らせです。夏休みに、水槽を一度きれいに掃除しようと、洗っていましたが、うっかり落としてしまい、割ってしまいました。もちろんお魚さんたちは、バケツに入れて避難していましたので、全員無事です。水槽がなくなったので、校長先生の家でみんな元気に過ごしています。ときどきネコがイタズラをしていますが。新しい水槽にこれから土を入れて水草のたねを蒔いて育てていこうと思います。みなさんの成績と一緒に水草も伸びていくくれたらなあと思っていますので、みなさんも新しい水槽、水草、お魚さんをおかわいがってください。

これで、始業式のお話を終わります。さいごまで、静かに聞いていただきありがとうございます。